

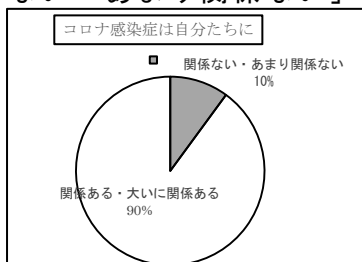


自分には関係ないと思いませんか？

### 今月の一言：新型コロナウイルスは身近な問題です！

By KENGO・MIRAI

先日全校生徒に実施したアンケート検査の結果、新型コロナウイルス感染症が自分には「関係ない・あまり関係ない」と思っている人が全体の1割もいることがわかりました。

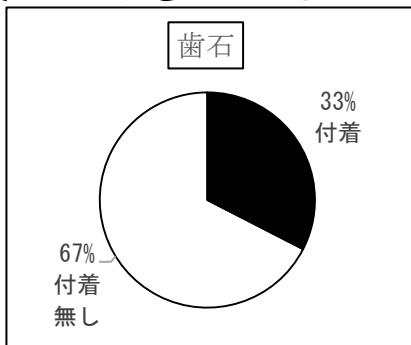
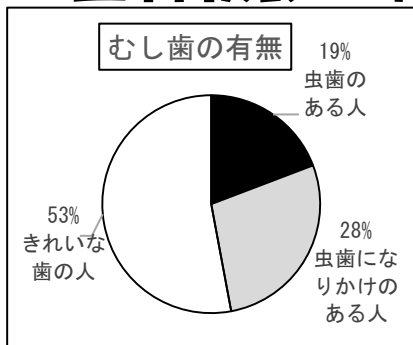


新型コロナウイルス感染症は、今のところ終息の目途がついていません。諸外国の論文からもワクチンが入手可能になるまでの1年半以上、集団免疫を獲得するまでの2022年までは、再流行が想定され社会的距離政策を継続していかねばならないと言われています。国内においても感染状況に応じた持続的な対策が必要で、感染の状況が厳しい地域では新たな感染者数が一定水準まで低減するまでは、医療崩壊を防ぐため、引き続き徹底した行動の変化（外出自粛等）が必要であり、一方、新たな感染者が限定的となった地域でも、再度感染が拡大する可能性があり、長丁場に備え、感染拡大を予防する「新しい生活様式」に移っていく必要があることが提案されています。「新しい生活様式」の中で私たちにも求められることは

「3つの密」の回避、手洗いやマスクの着用、人と人との距離の確保です。

皆さんもウイルスとの戦いを自分の事としてとらえ、生活様式を今一度見直しましょう！！

### ★歯科検診が終わりました！



今回の検診は感染症対策として、手袋・歯鏡は使い捨てタイプを使用して、例年どおり丁寧な検診をしていただきました。

う歯（虫歯）が約2割、CO（虫歯になりかけ）は約3割の生徒に見られました。虫歯の保有率は低いのですが、上のグラフのようにZsと呼ばれる歯石の付着が目立ちました。

歯石とは、唾液中のカルシウムなどが歯垢に沈着して石のようにこびりついたものをいいます。上の奥歯の外側や下の前歯の内側などは特に歯石が付きやすい場所です。

歯石は日常の歯みがきではなかなか取り除けないため、歯科医院での除去が必要です。

歯石があるとそこに歯垢が付きやすくなり、歯周病や虫歯などのリスクが高まります。

学校歯科医の早岐先生に今回の検診を終えての感想をお聞きしましたところ、

「外見がきちんとしていて素敵な生徒さんなのに、口の中の状況が悪くとても残念な人が目立ちます。昼食後だったこともあり、食べかすがかなり残っている人もいました。

口の中を清潔に保つことは、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の予防にも役立ち、全身の健康に繋がります。歯石がつかないように日頃のブラッシングをもっと丁寧に頑張ってください。」とのことでした。検診結果が届いたら早速自分の口の中の状況をチェックしてみてくださいね。

# 保健室より保護者の皆様へ

## ★ルールに向こう側には

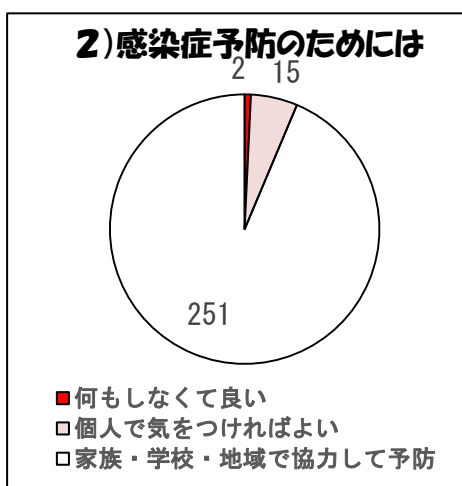
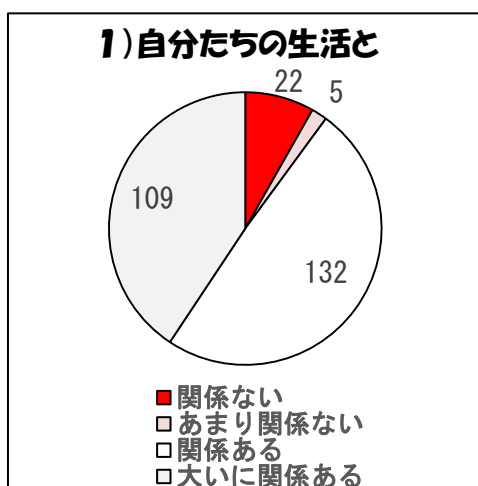
このところ、新型コロナウイルスがきっかけで「ルール」が増えました。「マスクをしましょう」「人と人の距離を開けましょう」など。学校生活のなかだけでなく広く社会生活でもきゆうくつだ。しんどいな、と思うこともありますよね。ではルールは何の為にあるのでしょうか。もし、人々が自分のことだけを考えて自由に暮らしたら・・・きっといろんなトラブルが起ってしまうでしょう。感染を防ぐためのルールは、自分だけではなく家族や友だちなどお互いを守る為に必要なのです。ルールを守るのはきついと思うことがあるかもしれませんが、でもルールの向こう側にはみんなを守るための工夫がたくさん詰まっているのです。

作年度末より、生徒の皆さんには、このように、自分の大事な人を守るため「新型コロナウイルス感染症予防」について一人ひとりが意識を高く持って、この困難を乗り越えましょうと度々伝えてきました。

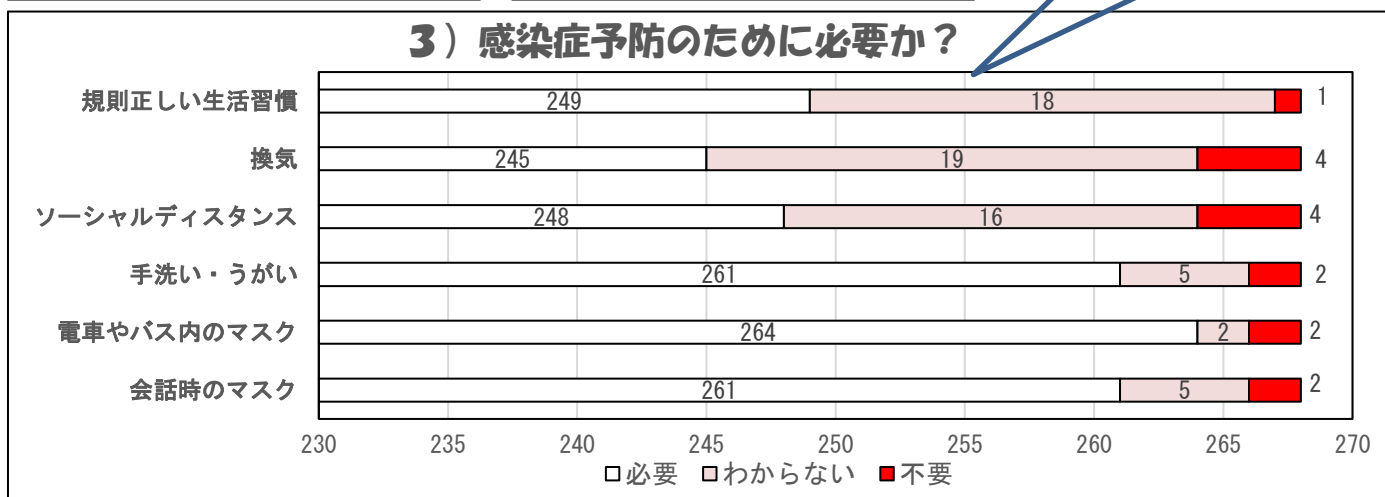
しかし残念ながら先日実施したアンケート結果によると、以下のように、一部ではありますが、「新型コロナウイルス感染症」が自分には関係ない、予防対策も必要がないと思っている生徒がみられます。

### <新型コロナウイルス感染症について>

### R2.9.1 実施アンケート結果より



感染症予防は決して他人事ではなく、これらのひとつひとつを、それぞれがこつこつと続けることが、自分や周りの尊い命を守ることに繋がるということをぜひご家庭でもお話しいただければと思います。



## ★9月は「健康増進普及月間」

毎年9月は「健康増進普及月間」として、運動習慣の定着や食生活改善などの健康的な生活習慣確立をテーマに様々な取り組みが行われます。がんなどの生活習慣病は、かつては「成人病」といわれていましたが、現在では年齢に関係なく若いうちからの予防が大切だと分かってきました。適度な運動と休養（睡眠）、栄養バランスの取れた食事を3本の柱に将来にわたって健康に気を配って生活していきたいものです。